

訪問看護ステーション あざぶだより

Vol. 05

2023年4月号

各事業所の皆様にはいつも温かいご支援をいただき、ありがとうございます。毎回当ステーションでの取り組みをご紹介しますが、今回は神経難病の利用者様との関わりの実際についてご紹介したいと思います。



神経難病の利用者様とご家族への援助の実際

当ステーションにはパーキンソン病や多系統萎縮症など神経難病の利用者様のご依頼もいただいております。神経難病は現段階では治療法が確立されていず、確実に進行していく疾患です。そのため利用者様やご家族の不安も大きく、進行に合わせて様々な支援が必要となります。

①日常生活の援助

看護師とリハビリスタッフが併用で入るケースが多いです。これまで行えていた日常生活動作が行えなくなってくることや、起立性低血圧等により転倒を繰り返しやすくなってきたりしますので、リハビリスタッフによるリハビリテーションの他、環境調整や介護方法の指導も重要です。また、尿閉や便秘など排泄面の症状や嚥下機能低下・構音障害に対しては、専門的視点から助言や指導を実施したり、かかりつけの医療機関と連携を取り対応策を検討していきます。

②意思決定支援

利用者様の疾患の受け止めや理解力に応じ、今後の経過や予測される状況についても少しずつお伝えし、その場合どうしていくか考え、決めていけるよう関わっています。利用者様によっては、人工呼吸器の装着や胃ろう造設などの一切の延命措置を希望されない方がいらっしゃるの、その思いを尊重した関わりを実践している他、一度決定した意思はいつでも変更が可能であることも説明し、その時々で揺れ動く気持ちを大切にされた関わりを行っています。



医療法人 札幌麻生脳神経外科病院

訪問看護ステーションあざぶ TEL011-712-0085

訪問地域：北区、東区 従業員：看護師、理学療法士、作業療法士

介護保険・介護予防訪問看護：緊急時訪問看護加算・特別管理加算・ターミナルケア加算

医療保険：24時間対応体制加算・特別管理加算

営業時間：平日 8:30~17:30

*脳神経外科疾患以外も、癌・難病・認知症・看取り等様々な病気を担当しております。

住所：〒065-0022 札幌市東区北22条東1丁目1-40 札幌麻生脳神経外科病院 1階